

人々の笑顔を創造する

地域コミュニティの拠点施設

●新たな海の魅力を感じて

「震災の影響で海離れが進む子どもたちに、海の魅力を伝えたい」と話すのは、「亘理町B&G海洋センター艇庫」の運営をしているNPO法人海族DMCの代表、太見さん。1982年に設立された海洋センターは、東日本大震災の津波で全壊。2018年5月に再建され、夏の週末を中心に亘理町が運営を行ってきた。2019年4月、艇庫の運営をNPO法人海族DMCが委託され、通年営業に。サップやカヌー、水上バイクや釣り道具などが楽しめる設備・用具を完備し、子どもだけではなく、3世代や外国人観光客など、昨年度は約3000人が訪れた。「自然のやさしさや厳しさなど、海から学ぶことってたくさんあるんです」と太見さん。「海」を教科書に生涯学習にも取り組み、「観光×教育」=震災復興という新たな海の魅力を発信している。

●未来を担う子どもたちのために

NPO法人海族DMCは、近隣の民宿と連携し、宿泊とマリンスポーツをセットで提供したり、婚活イベントで定住人口拡大を目指すなど、様々なイベントも行っている。ドッグランやサイドカーでの亘理観光など、新しい企画も続々と計画しているそうだ。また、水中ドローンによる震災行方不明者の捜索を行う震災の風化防止の活動、産学官連携による、海洋プラスチックゴミの実態調査で環境保全などSDGs活動を推進する。様々な活動は、次世代の子どもたちのよりよい未来に繋がっていくことだろう。

潮風を浴びながら開放感が
味わえるカヌー（シーカヤック）体験。
※救助艇が見守りするので安心です。



file no. 8
ふとみ ようすけ
太見 洋介さん
地域に根付く「地元のプロ」に
インタビュー。
8回目は、「亘理町B&G
海洋センター艇庫」を運営する
代表の太見さんです。

艇庫には、ラジコンや
ダートボードなど、
体験ができる海族がレージ
もありません。



亘理町B&G海洋センター

所 亘理町荒浜鳥の海7-6
営 10:00~17:00
休 月曜、火曜
※各プランにより異なる
☎ 0223-33-2210
<https://watari-bg.com/>